

オープンキャンパス2024（大学院説明会・体験入学説明会）

担当教員 2024年度担当教員
総合研究大学院大学 先端学術院先端学術専攻 分子科学コース 准教授 杉本 敏樹

2024年6月1日（土）に、オンサイト形式にて分子研オープンキャンパスを開催しました。周知方法としては、各研究教育機関へのポスター送付、専用HP(<https://www.ims.ac.jp/sokendai/>)、分子研X（旧twitter）、YouTube (<https://www.youtube.com/@bunshiken/shorts>) などを通じて、広報活動を2ヶ月程度行いました。COVID-19パンデミック後初の対面開催です。日本全国から35名の大学生・大学院生の参加がありました。

午前の部は、岡崎コンファレンスセンターの大隅ホールにて9時50分から開催されました。所長と大学院委員長による分子研・総研大の概要説明の後、大学院入試の説明、及び参加者からの質問回答の時間が設けられました。ラボ紹介PRセッションでは、約15の研究室の教員から、分子研で行われている最先端の研究取り組み内容の紹介がありました。

難しい内容も含まれていたと思いますが、多くの参加学生さんが熱心に聴講している様子が大変印象的でした。今回は、総研大現役大学院生4名によるキャンパスライフトークと質問回答セッションを設けました。さらに、お昼休憩を活用し、中会議室で約1時間のランチ交流会を実施しました。参加学生・分子研教員・運営スタッフには、サンドイッチと飲み物が配られました。和気藹藹とした雰囲気の中で、様々な出身大学の学生さんと分子研の教員・大学院生の間で交流が活発にすすみ、あっという間に時間が過ぎました。

午後の部では、明大寺キャンパス及び山手キャンパスのラボツアーが行われました。オフィスでの研究室紹介や実験室での研究室紹介に加え、体験実験も企画する研究室があるなど、ラボツアーの実施内容は研究室によって様々でした。参加学生さんの所属学部・学科の分布などの影響

もあり、訪問学生さんの数が研究室によって20名超～数名とばらつきもありました。参加した学生さんからは、「研究環境が素晴らしかった」「今後の進路を選ぶ上で大変貴重な体験となった」、「大学院生の先輩方や教員の方々が親身に話してくれありがたかった」「運営スタッフの方の対応がとても丁寧でありがたかった」などの声がありました。

次回開催に向けて改善できる余地はまだありますが、以上のように、参加された先生方や大学院生、運営スタッフの方々のご協力により充実したオープンキャンパスを開催することができました。特に、永園さん、太刀川さん、原田さんをはじめとする戦略室の方々、技術推進部の内山さんには準備から当日の会場運営を手厚くサポートいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



タイムテーブル

9:30～ 9:50	受付
9:50～10:05	分子研概要説明・総研大説明
10:05～10:20	大学院入試説明＆質問回答
10:20～10:55	オープンキャンパス参加教員のラボPR
10:55～11:05	休憩
11:05～11:40	総研大在学生によるキャンパスライフトーク＆質問回答
11:40～13:00	ランチ交流会・参加者自己紹介
午後の部	
13:00～17:30	ラボツアー

公開ラボ一覧

E V E N T R E P O R T

岡崎3機関学生交流会を振り返って

総合研究大学院大学 構造分子科学専攻 5年一貫制博士課程3年 吉田 瑠

2024年4月26日、岡崎コンファレンスセンターにて「第一回岡崎3機関学生交流会」が開催されました。この会は、岡崎3機関(分子研、生理研、基生研)に所属する総研大生・インターンシップ生の交流を深めるためのイベント(懇親会+ポスター発表)です。運営スタッフと参加して下さった皆様のおかげで、学生・教員・職員合わせて約70人が集まる盛会となりました。また約20名の学生が研究紹介を行いました。基生研・阿形所長いわく、岡崎3機関

の皆様が一同に集まるイベントは初めてのことだそうです。

この会は、生理研の田熊君との雑談をきっかけとしてスタートしました。70人が集まる素敵な会にできたのは、運営スタッフの田熊君と鳴川さん(生理研)の人望に加えて、永園さん(分子研)、太刀川さん(分子研)、本多さん(生理研)の3人による強力なサポートのおかげです。また、沢山の教員の方から予算の支援やお酒の差し入れを頂き、大変助かりました。この場を借りて改めて御

礼申し上げます。

今後もこのような3機関の学生が交流するイベントを企画する予定です。教員・学生・職員に限らず、奮ってご参加ください。教員の方には、差し入れや予算の支援などを通して応援していただけると幸いです。学生の方は運営に協力していただけるとも助かります。分子研、岡崎3機関の一員として、もっと岡崎3機関を盛り上げたいと思っています、今後ともご支援どうぞよろしくお願い致します。

受賞者の声

吉田 瑠

(総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学専攻 5年一貫制博士課程3年)

日本化学会東海支部長賞受賞

この度私は、2023年度の日本化学会東海支部長賞を受賞しました。

日本化学会東海支部長賞は、人物及び学業成績が優秀な化学系の大学・大学院・工業高等専門学校卒業生・修士生に日本化学会東海支部から授与される賞です。

分子研に入学してから私は、これまでに合成例のない新しいトポロジーを有する有機共有結合体(COF)の合成の研究に取り組んでいます。修士課程では、精密に3次元構造を設計した複数の有機分子を組み合わ

せることで、目的のトポロジーを有するCOFを合成できるのではと考え、その原料となる分子の設計と合成を行いました。本研究では、まず量子化学計算を駆使し、目的とするトポロジーを有するCOFの合成に適したひずみを持つ3回対称分子を設計するとともに、実際に合成を行いました。また、分光測定やX線構造解析から合成した分子が目的とするCOFの原料に適した構造的・電子的性質を有することを明らかにしました。現在は、合成したこれらの分子



を重合させて目的とするCOFの構築に取り組んでいます。

今回の受賞に際して、多くのご支援とご鞭撻を賜りました、瀬川泰知准教授と杉山晴紀博士(CROSS)をはじめとする瀬川グループの皆様には深く感謝致します。今後とも本受賞を励みに、より一層よい研究ができるよう精進致します。